

メール himegawa@ac.city.myoko.niigata.jp

HP <http://azalea.ac.city.myoko.niigata.jp/himega-s/>



学校だより/姫川原小

7月



約束のかたち

ヤギさんがついに学校にやってきた。「本当に飼うことができるのか」問い直しを続けた一年生が、ヤギさんを連れてきてくれた畜産会社のお兄さんに、「がんばります」と誓った瞬間だ。

言葉だけでない約束を守る証としての指切りだ。指切りをすることで、平気で嘘はつけないぞ!と戒める意味が、風習の中で育ってきたものと思う。子どもの頃、童謡のように意味も考えず音で覚えていたものだ。

『指切りげんまん 嘘ついたら 針千本吞ます』

こんなに恐ろしい内容とは想像さえしなかった。愛情の普遍を誓う遊女が指を切ったことから由来するという。体を張って、約束を守った時代があったということだ。それだけ約束を守る大切さは、今の世も変わりはない。

姫小の学校のルールをまとめた『姫小のスタンダード』がある。宿題や提出物も一つの約束となる。守って欲しいから基準や期日を示すわけだが、なかなか徹底が図れない。守れない子どもが限定されてくる。担任との根比べが現状だ。世の中の交通ルールを始め、様々な約束事も同様である。昨日警察との会議で、自転車は車両と同じ意識で、危険性について話題になった。周りの目や、自分の身に危険がふりかかって初めて考え出す現状だ。まずは大人の我々から約束を守る大切さを子どもに示していこう。

始業式では、一学期頑張ることを作文で表現した。これも一つの約束の形だった。その約束を振り返る時期が早くもやってきた。

2年生「行ってみよう やってみよう ひまわり探検隊」

2年生は、ひまわり学年です。その名前をとって「ひまわり探検隊」として、たくさんの体験を生活科で重視しています。学習内容には、「住んでいる町の探検・野菜作り・動くおもちゃ作り・小さい頃の調査やまとめ」などと盛りだくさんです。毎朝、教室に入る前に、野菜の世話から朝がスタートしています。地域の野菜作り名人の方と苗を植えた畑は、今や土が見えないほど葉が大きく広がり成長しました。毎日収穫した野菜を大切に持って帰るひまわりっ子たちです。



3年生「ブドウで広がる！

ブドウでつながる！」

地域色を一番感じさせる学習材です。学校のプール脇にあるブドウ棚。3年生になると、この木を受け継ぎ、大切に育てる意識が育っています。地域の方々から指導をいただいているが、今年の3年生は、ブドウを育てている家庭が多く、祖父母のみなさんの協力も大変ありがたいです。今年もブドウつながりの上越市立高士小学校と交流会を年2回行う予定です。子ども自らデジカメをもち、ブドウカメラマンと称した役割を分担し、毎日観察を続けています。



1・2年の「生活科」3年～6年の「総合的な学習」のテーマをはじめ、最近の様子を紹介します。

1年生「みんな だいすき」

1年生は、3ヶ月の間に目を見張る成長を上げています。学校生活に慣れるために、学校探検からスタートしました。先生方や、お兄さんお姉さんの名前を覚えるために握手大作戦をしたり、公園へ遊びに行ったりと、学校で友達と学ぶ楽しさを実感させるための核となる授業が生活科です。「生き物の世話」では、7月2日に山羊さんの入学式を行いました。子どもたちのつけた名前が「もりもりやっくん」です。かわいいまだら模様の芝ヤギさんを見に来てください。



「大好き 姫川原」

～体験し、感じ、考えよう ふるさと姫川原を～

6年生「青苧とわたしたちのまち 姫川原」

昨年の4名が作った卒業証書を自分たちも作りたい。という願いをもち、今年も100%青苧の証書づくりに挑戦します。8月初めに青苧を刈り取る作業をする予定です。今年は妙高市の市民大学講座とのコラボを実現します。一緒に青苧を刈り、一緒に青苧から糸を取る作業を進めます。上手にリードできるといいですね。



4年生「映画を作ろう！高床山のひみつ」

今年の4年生は、高床山に特化した学習にしました。春、美しいギフチョウを追いつながら、高床山の歴史や自然について調べることから始めました。地域の方にお話をお聞きしたり、ギフチョウを守るために活動したり、自らビデオカメラをもち、映像におさめてきました。

調べてきたことや、映像をもとに、これから一番伝えたいことをシナリオにして、映画を作っていきます。



5年生「おいしいさくら米にチャレンジ」

さくら学年の5年生です。妙高市内の5年生は、米作りを中心とした総合を展開しています。市内の5年生が一堂に会しての「米こめサミット」も待っています。昨年同様、後援会長さんの手ほどきを受けながら、一通りの農作業を最初から体験させてもらっています。学校に一番近い増村さんの田をお借りできたおかげで、毎朝、稲の成長記録をとることを頑張っています。用水の取水口の近くと、真ん中の二か所を比較することで、水温による成長の大きな違いに発見の日々です。



縦割り班でスポーツテスト

東京オリンピックを契機に始まった体力テストでしたが、平成 11 年に新スポーツテストに変わりました。私が子どもの頃の踏み台昇降や垂直跳びや背筋力は姿を消し、保護者の方も経験のない 20m シャトルランが登場しました。ドレミの電子音に合わせて 20m を往復する全身の持久力をみるテストです。

当校は昨年から縦割り班を生かしてテストを行っています。6 年生が種目毎にお手本を見せると、次々と高学年の記録を目指して頑張っていました。



メディアを親子で考えよう！

学校保健委員会の行事として、「メディアとの上手なつきあい方」と題し、親子での学習会を開きました。上越警察署の上越少年サポートセンターから、講師の先生をお呼びしました。インターネットや携帯端末、ゲーム機等がどんどん進化し、保護者や教員の方が実態や機能が分からず、安全に使うことへの知識が不足している現状を打破したかったからです。

具体的な事例から、高学年の子どもたちも、犯罪になるのか、ならないのかのラインが分からなかったことも多く、大変ためになった学習会でした。



- *うちの子にはまだ早い話だと思っていたのですが、すぐにでも話をしなければいけないと思いました。子どもも知らないうちに興味本位で始めて犯罪の被害にあうかもしれないので本当に怖いと思いました。貴重なお話ありがとうございました。(低学年Pの感想)
- *インターネットでは、良いことも悪いこともいっぱいあること。個人情報や友だちの悪口、住所などを書き込むと違反になることが分かってよかったです。(6 年児童)
- *人のパスワードを聞くだけで犯罪になるとは知りませんでした。パスワードやアイテムをとったりするのはゲームの中での問題であると思ったけど、ゲームの中も犯罪に該当することを知りました。(6 年児童)

学校の池をビオトープに

理科教育センターの先生を講師に、職員の理科研修を兼ね、ひょうたん池のビオトープづくりをしました。閉校後の池を考慮した P T A 会長さんのアイディアから生まれたものです。水生植物を植えたプランターを沈めたり、学校田に生えている田の草を入れたり、生物の住みやすい環境を作りました。持ってきて下さった黒メダカも入れました。ヤゴが泳いでいる池は、水面に波形があちこちに広がっては消え、大きな変化です。

